

令和5年度 文化をつなぐミュージアム研修

1 研修の趣旨

博物館の設置者・行政職員等、ミュージアムの地域課題解決や中長期的な将来構想に関係する者に対して、文化政策や、これからのミュージアムに求められる役割に関する基本的な知識に関する研修を行い、政策・企画の立案、管理・運営に関する基礎的な資質の向上を促進する。

2 研修の概要

主 催 者：文化庁

対 象 者：自治体や財団等、博物館の設置団体の職員、博物館の職員
上記と同様の職務を行うと主催者が認める者

実施期間：令和5年12月20日（水）～21日（木）（2日間）

実施方式：オンライン300名

	初任	中堅	ベテラン
管理職			
事務職			
学芸職			

 ミュージアム・トップマネジメント研修
 文化をつなぐミュージアム研修
 ミュージアムPR研修

3 日程とカリキュラム

【12/20（水）】

	時間	テーマ	概要
開講式	09:30～09:45	開講式・ガイダンス	
講義1	09:45～10:45	序論 地域文化拠点としてのミュージアム	地域の文化拠点としての博物館経営は、自治体の文化政策を基盤とする。これからの地方自治の中で博物館の果たす役割を考える。
	中尾智行	文化庁 文化観光拠点 博物館支援調査官	
講義2	11:00～12:00	各論 博物館の魅力を引き出す評価	地域の文化拠点としての博物館の使命と目的を社会と共有し、価値と魅力を形成するための評価を考える。
	源由里子	 明治大学副学長、同公共政策大学院教授 1957年生まれ、東京工業大学大学院博士課程修了 国際協力事業団（JICA）、財団法人国際開発高等教育機構、立教大学大学院を経て、現職。 専門は評価論（文化芸術分野における協創型評価）。	
講義3	13:00～14:00	解説 博物館を取り巻く法制度と支援の制度	博物館を取り巻く法制を整理、地方財政措置や活用できる委託・支援事業などを紹介する。
	荒川瑞穂	文化庁 企画調整課 博物館振興室	
講義4	14:15～15:15	事例 文化資本によるクリエイティブな都市の創造	文化資本は、自治体にとって重要な経営資源である。「やわらかな文化行政」によりクリエイティブな都市の創造を考える。
	鬼木和浩	 横浜市にぎわいスポーツ文化局文化振興課長（主任調査員） 1965年生まれ、法政大学卒業 職歴：横浜市文化政策課、芸術文化教育プラットフォーム 横浜市役所で文化芸術振興を担当する専門職員	

講義5	15:30～16:30	事例 地域の人々に愛される動物園・水族館	日本と海外の「ウェルビーイング」における価値観の違いを通して、地域の人々に愛される動物園・水族館の世界的傾向と普遍性を見通す。
	田井 基文	 動物園水族館ジャーナリスト、コンサルタント 1979年生まれ、早稲田大学法学部卒業 動物園や水族館の広告、グッズのデザイン制作に従事したのち、フリーマガジン『どうぶつにくに』を主宰。本年7月『世界をめぐる動物園・水族館コンサルタントの想定外な日々』を発表。	

【12/21（木）】

	時間	テーマ	概要
講義2	09:45～10:45	総論 博物館がつなぐ地域と世界	文化政策の歴史と理念を振り返りながら、文化芸術によって地域と世界がつながる社会の構築について考える。
	藤野一夫	 兵庫県立芸術文化観光専門職大学副学長 1958年東京生まれ、学習院大学大学院満期退学。 神戸大学 国際文化研究科 教授を経て、2021年より現職。編著に『基礎自治体の文化政策 まちにアートが必要なわけ』など。専門は、文化政策、アートマネジメント。	
講義7	11:00～12:00	解説 博物館施設の建設と運営	公共施設の建設、維持管理、運営について、指定管理制度や、PPP／PFI／コンセッション方式など多様な管理を概観し、その効果について紹介する。
	時友彰吾	文化庁企画調整課 博物館振興室	
講義8	13:00～14:00	解説 博物館施設の安全管理と環境保全	防火・防災計画の策定、警備・清掃の体制の構築とマニュアル作成、温湿度管理と空調機メンテナンス、IPM等、博物館施設及び資産を守るための方策と措置について解説する。
	山口俊浩	文化庁 企画調整課 博物館振興室	
講義9	14:15～15:15	総論 徹底した地域資源の掘り起こしと活用	人口減少と高齢化が進むなか、民俗文化財からアニメ、素粒子研究まで、地域資源の徹底的な掘り起こしと活用を行う自治体の取り組みを紹介し、これからの展望する。
	都竹淳也 三好清超	 飛騨市長 1967年生まれ、筑波大学社会学類卒業、岐阜県庁職員を経て、2016年より現職。 飛騨市教育委員会文化振興課 1977年生まれ、富山大学大学院修了。飛騨市教育委員会事務局文化振興課勤務。	
討議	15:30～16:30	質疑応答、全体討議	参加者全員及び文化庁職員による質疑応答。
閉講式	16:30～16:45	閉講式	